

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2003-41018(P2003-41018A)

【公開日】平成15年2月13日(2003.2.13)

【出願番号】特願2001-233961(P2001-233961)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 J 5/18

// C 0 8 L 67:02

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F D

C 0 8 L 67:02

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱収縮性ポリエステル系フィルムにおいて、

多価アルコール成分100モル%中、1,4-シクロヘキサンジメタノール成分が10
~50モル%であり、

10cm×10cmの正方形状に切り取った熱収縮性ポリエステル系フィルムの試料について、下記(A)、(B)および(C)の熱収縮率が、(A):5~50%、(B):65~75%、(C):10%以下であり、

(A):70の温水中に5秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(B):85の温水中に5秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向の熱収縮率、

(C):85の温水中に5秒浸漬して引き上げ、次いで25の水中に10秒浸漬して引き上げたときの最大収縮方向に直交する方向の熱収縮率、

フィルムの最大収縮方向での厚み変位測定を、長さ50cm、幅5cmの試験片について行ったとき、下式(1)に規定する厚み分布が7%以下であることを特徴とする熱収縮性ポリエステル系フィルム。

厚み分布 = [(最大厚み - 最小厚み) / 平均厚み] × 100 (1)

【請求項2】

フィルムの最大収縮方向についての熱収縮試験を、90の熱空気中、試験片幅20mm、チャック間距離100mmの条件で行ったとき、最大熱収縮応力値が8~16MPa以上である請求項1に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルム。

【請求項3】

請求項1または2に記載の熱収縮性ポリエステル系フィルムから得られたものであることを特徴とする収縮ラベル。